

南北の連携軸を
有するエリア

.....

国道41号、JR高山本線沿線の
自然と文化資源を活かしたまちづくり



国内有数の
山岳資源や
温泉資源を有するエリア

.....

飛騨山脈の山岳資源や
自然を活かしたまちづくり



高規格
道路沿線(延伸)の
立地を有するエリア

.....

中部縦貫自動車道、東海北陸
自動車道を活かしたまちづくり



第4章

地域間連携(エリア)の

まちづくり

街道景観と
都市部とのアクセスを
有するエリア

.....

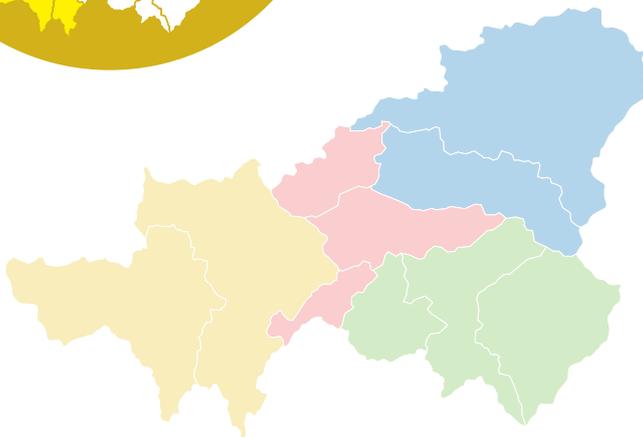
自然豊かな街道景観と都市部との
アクセスを活かしたまちづくり



高地の特性と
長野県方面からの
アクセスを有するエリア

.....

国道361号、主要地方道
久々野朝日線を活かしたまちづくり



1 地域間連携(エリア)のまちづくりのすすめ方

市では、平成17(2005)年の市町村合併以後、第七次総合計画、第八次総合計画に基づき、一体感の醸成に向けた取り組みをすすめるとともに、多様な地域資源や地域特性を活かした個性あるまちづくりを推進してきました。

また、平成27(2015)年度からは協働のまちづくりが市全域でスタートし、市やまちづくり協議会、事業者などの多様な主体が協働して地域課題を解決するための事業に取り組んでいます。

そのような中、令和2(2020)年の第八次総合計画の見直しにおいて、各まちづくり協議会の範囲を地域の単位とした地域のまちづくりを位置づけ、市民、地域住民組織、事業者、行政など地域に関わる様々な主体が同じ目線に立って将来に向けた取り組みを実践できるよう、各地域のまちづくりの方向性を示してきました。

まちづくり協議会を単位とした地域のまちづくりでは、地域固有の資源や特性を活かした個性あるまちづくりが着実に進展しており、地域のまちづくりに対する市民意識の醸成が図られている一方で、個別地域の枠にとどまり、個別地域の枠を超えた地域(エリア)での取り組みが少ないのが現状です。

こうしたことを踏まえ、“自分たちが住むまちは、どのような姿が望ましいのか”という市民の思いを大切にしながら、より効果的かつ効率的な地域のまちづくりを推進するため、各地域が培ってきたそれぞれの強み(特徴等)を活かす形で、地域間(地域同士)の連携強化を図り、地域(エリア)一体となってすすめるまちづくりの方向性を地域間連携のまちづくりとして示します。

なお、市が一体的に取り組む施策や特定分野における取り組みは、重点戦略や分野別計画において取り組むこととしています。この地域間連携のまちづくりでは、個別地域を超えた地域(エリア)一体となって共通の認識を持って取り組みをすすめることで、個別地域が誇る資源(魅力)を活かして相乗効果による地域活性化に資するまちづくりの方向性を示しています。

2 エリアの設定及び方向性の考え方

(1) エリアの設定

地域間連携(エリア)の設定にあたっては、以下の項目に留意し設定します。

■ 歴史的・地理的な繋がり

複数地域が河川流域や道路網、伝統文化、自然景観、農林業などの歴史的・地理的な繋がりを活かすことで、さらなる一体感の醸成が期待できること。

■ 広域化・相互補完

地域間連携によりエリアが広域化することで、スケールメリットが期待されること。
また、強みを活かして弱みを補うといった相互補完による効果が期待できること。

■ 政策間の連携

複数の政策が相互に関係することで、地域(エリア)全体として各種政策の相乗効果が期待できること。

(2) 方向性の考え方

地域間連携(エリア)のまちづくりの取り組みなどについては、以下の考え方に基づき、設定しています。

- 主な地域として、高山地域及び各支所地域単位での地域を示していますが、エリアとして示した特定の地域のみでの取り組みではなく、周辺地域も含めて一体的な取り組みとすすめるものです。
- 共通の資源を活かした地域間連携の活性化でのエリア設定であり、他の取り組みにおける地域を限定するものではありません。
- 単独の地域での特徴を活かした取り組みなどは、重点戦略や分野別計画などで示すこととしています。



3 地域間連携(エリア)のまちづくり

(1)国内有数の山岳資源や温泉資源を有するエリア

飛騨山脈の山岳資源や自然を活かしたまちづくり

●主な地域

- ・丹生川地域
- ・上宝・奥飛騨温泉郷地域
(周辺関連自治体:松本市)



●エリアの特徴

主な地域資源	都市連携軸など
<p>【自然資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・槍ヶ岳、乗鞍岳、穂高連峰、中部山岳国立公園など ・Kita Alps Traverse Route(北アルプストラバースルート) ・新穂高ロープウェイ、登山道、乗鞍スカイライン、乗鞍山麓五色ヶ原の森、奥飛騨ビジターセンター <p>【産業資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥飛騨温泉郷(5つの温泉地)、宿讎の湯、恵比須の湯 ・飛騨大鍾乳洞、スキー場、ロングトレイル、キャンプ場 ・稲作や山椒、トマト、ハウレンソウ生産をはじめとした農業 ・道の駅奥飛騨温泉郷上宝 	<ul style="list-style-type: none"> ・中部縦貫自動車道 ・国道158号 ・国道471号

●まちづくりの方向性

松本高山Big Bridge(ビッグブリッジ)構想や山岳観光プロモーションの強化、地域資源の更なる磨き上げなどにより、飛騨山脈の山岳資源と自然を有するエリアとしてのまちづくりをすすめます。

●主な取り組み

- ・松本高山Big Bridge(ビッグブリッジ)構想の推進
- ・飛騨山脈ジオパーク構想の推進
- ・奥飛騨温泉郷活性化基本構想の推進
- ・グリーンツーリズム、エコツーリズム等の体験型の観光の推進



■ 奥飛騨温泉郷



■ 乗鞍岳

（2）街道景観と都市部とのアクセスを有するエリア

自然豊かな街道景観と都市部とのアクセスを活かしたまちづくり

● 主な地域

- ・清見地域
- ・荘川地域

（周辺関連自治体：郡上市、白川村）



● エリアの特徴

主な地域資源	都市連携軸など
<p>【道路資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛騨美濃せせらぎ街道、飛騨やまびこ街道、さくら街道、飛騨高山風景街道、高規格道路（「合掌・さくら」飛越街道（東海北陸自動車道、中部縦貫自動車道））他 ・道の駅：パスカル清見、ななもり清見、桜の郷荘川 <p>【自然資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白山国立公園、せせらぎ渓谷県立自然公園、白山ユネスコエコパーク、生活環境保全林（せせらぎ街道四季の郷、であいの森）、荘川桜 <p>【産業資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウッド・フォーラム飛騨、自然体験施設、キャンプ場、別荘地、そば、飛騨牛、木工・クラフト、桜香の湯、荘川の里、そばの里荘川、高冷地野菜 	<ul style="list-style-type: none"> ・東海北陸自動車道 ・中部縦貫自動車道 ・国道156号 ・国道158号 ・主要地方道高山清見線

● まちづくりの方向性

自然豊かな街道景観の保全と活用によるエリアの周遊の促進をはじめ自然や農業を体験できる施設の活用など、都市部や企業等との連携などにより、街道景観と都市部とのアクセスを有するエリアとしてのまちづくりをすすめます。

● 主な取り組み

- ・自然や農業を体験できる施設などを活用した観光・交流の振興
- ・四季折々の美しい街道景観の保全と活用
- ・道の駅の販売促進及び地域食材の提供
- ・農業・畜産の担い手への農地等の集積・集団化・大規模化
- ・東海北陸自動車道全線4車線化の促進



■ せせらぎ街道



■ 「トヨタ労連家族」と学校の交流会

（3）南北の連携軸を有するエリア

国道41号、JR高山本線沿線の自然と文化資源を活かしたまちづくり

●主な地域

- ・高山地域
- ・一之宮地域
- ・久々野地域
- ・国府地域

（周辺関連自治体：下呂市、飛騨市）



●エリアの特徴

主な地域資源	都市連携軸など
<p>【文化資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山城跡(高山城、松倉城、広瀬城ほか) ・ユネスコ無形文化遺産「高山祭の屋台行事」 ・日本遺産「飛騨匠の技・こころ一木とともに、今に引き継ぐ1300年」 ・伝統的建造物群保存地区、風土記の丘 ・堂之上遺跡、飛騨一宮水無神社、安国寺経蔵、臥龍桜、宮笠、位山道など <p>【自然資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・位山、船山、川上岳、モンデウスパーク、ひだ舟山リゾートアルコピア、宮川、常泉寺川(バイカモ)、源流の森、巨樹・巨木、巨石群、分水嶺、岐阜大学位山演習林、あららぎ湖、宇津江四十八滝など <p>【産業資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・果樹、高冷地野菜、ワイナリー、釣り、道の駅飛騨街道なぎさ、特選館あじか、しぶきの湯など 	<ul style="list-style-type: none"> ・国道41号 ・JR高山本線 ・主要地方道国府見座線 ・主要地方道宮萩原線



■ 荒城神社



■ 高山祭



■ 臥龍桜

●まちづくりの方向性

日本遺産や伝統工芸品、名勝や田園・農村風景の活用などの体験型の周遊の促進などにより、自然と文化資源を活かしたエリアとしてのまちづくりをすすめます。

●主な取り組み

- ・日本遺産を活用した周遊型の観光の推進
- ・伝統工芸品の活用と保存継承
- ・地域を周遊するe-バイクツアーの促進
- ・ヘルスツーリズムの推進
- ・アルコピアスキー場廃止後の地域振興策の推進

（4）高地の特性と長野県方面からのアクセスを有するエリア

国道361号、主要地方道久々野朝日線を活かしたまちづくり

● 主な地域

・久々野地域 ・朝日地域 ・高根地域
 （周辺関連自治体：下呂市、木曾町）



● エリアの特徴

主な地域資源	都市連携軸など
<p>【道路資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 美女街道、旧江戸街道 <p>【自然資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飛騨御嶽高原高地トレーニングエリア、秋神グラウンド ・ 御嶽山、乗鞍岳、野麦峠、秋神川、釣り ・ 石仏、枝垂れ桜、氷点下の森 <p>【産業資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 塩沢温泉、秋神温泉、くるみ温泉、キャンプ場 ・ 鈴蘭高原カントリークラブ、ひだ舟山リゾートアルコピア ・ 高冷地野菜、果樹、蒸留所、ワイナリー、観光農園 ・ 木工・クラフト ・ 道の駅ひだ朝日村、道の駅飛騨たかね工房 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国道361号 ・ 主要地方道久々野朝日線 ・ 県道御岳山朝日線



■ 高地トレーニングエリア



■ 飛騨高山クラフト街道 CRAFT361



■ ひだ桃源郷 くぐの納涼夏まつり

● まちづくりの方向性

高地を活かした地元農産物やスポーツ交流など道路沿線の特徴を活かした一体的な取り組みの促進などにより、高地の特性と長野県方面からのアクセスを有するエリアとしてのまちづくりをすすめます。

● 主な取り組み

- ・ 高地トレーニングエリアにおける利用促進
- ・ 地域活性化に向けた廃校施設の活用
- ・ スポーツ合宿誘致に向けた地元活動の促進
- ・ クラフト361など沿線の特徴を活かした民間活動
- ・ アルコピアスキー場廃止後の地域振興策の推進

（5）高規格道路沿線（延伸）の立地を有するエリア

中部縦貫自動車道、東海北陸自動車道を活かしたまちづくり

●主な地域

- ・高山地域 ・丹生川地域 ・清見地域
 - ・荘川地域 ・上宝・奥飛騨温泉郷地域
- （周辺関連自治体：白川村、郡上市、松本市）



●エリアの特徴

主な地域資源	都市連携軸など
<p>【道路資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高規格道路インターチェンジ、道の駅、バスターミナル、安房トンネル、飛騨美濃せせらぎ街道 <p>【自然資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中部山岳国立公園、槍ヶ岳、乗鞍岳、穂高連峰、白山など、新穂高ロープウェイ、登山道、乗鞍スカイライン、乗鞍山麓五色ヶ原の森 <p>【産業資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥飛騨温泉郷（5つの温泉地）、宿讎の湯、恵比須の湯、桜香の湯 ・飛騨大鍾乳洞、スキー場、ロングトレイル、キャンプ場、別荘地、清見造成地 	<ul style="list-style-type: none"> ・中部縦貫自動車道 ・東海北陸自動車道

●まちづくりの方向性

高規格道路の延伸を見据え、地域資源を活かした沿線の地域活性化などの取り組みにより、新たに設置しようとする中部縦貫自動車道の間インターチェンジ周辺をはじめ、高規格道路沿線の多様な立地を有するエリアとしてのまちづくりをすすめます。

●主な取り組み

- ・中部縦貫自動車道の整備促進、中間インターチェンジの整備促進
- ・東海北陸自動車道全線4車線化の促進
- ・奥飛騨温泉郷活性化基本構想の推進
- ・四季折々の美しい街道景観の保全と活用
- ・農業・畜産の担い手への農地等の集積・集団化・大規模化
- ・企業立地の推進
- ・自然や農業を体験できる施設などを活用した観光・交流の振興



■ 中部縦貫自動車道

■ 幸福実感指標

指標名	指標の説明	単位	現状値 (2024)	中間目標 (2029)	目標 (2034)
市民満足度 [地域連携]	「高山地域や各支所地域が地域を超えて連携した(一体となった)取り組みにより地域が活性化している」と感じている市民の割合	%	32.3	↗	↗

